



きり保育国  
「先生、見て見て! 登れたよ!」

# みらい

2015.1  
新春号 ⑫

一般社団法人 さいたま市私立保育園協会 広報誌

## Contents

年頭のあいさつ …P2・3

実習生について思う …P4

桜区の報告・浦和区の報告・保育士保育所支援センター視察・今月のおすすめメニュー …P5

部会活動報告 …P6

わくわくがいっぱい!・編集後記 …P7

保育園紹介 …P8



# 新制度と保育所



一般社団法人さいたま市私立保育園協会 会長 剣持 浩

夜明けと共に遠くの朝焼けの輝きがまぶしく光り、新年を迎えられたことに会を代表して皆様のご多幸と、より良き年でありますよう祈念申しあげます。

今年は認可保育園や社会福祉法人にとつて大きく動き出す年でもあります。暮れの衆院解散、消費税値上げ先送りは財源的な裏付けがないまま4月から新制度が施行されます。子育て支援を最重点にするのであれば、次世代を育てるための財源として、1兆円を上回る財政投資が必要であることは政府自身も、そして子育て3法を決めた自民、公明、民主が認めているところです。しかし、前述したように消費税先送りという状況が今後日本の子どもの育ちを保障する課題にどのような影響を与えるかはきわめて不透明と言わなければなりません。最低7000億という財政的裏付け無しに新制度を施行させようとしています。これもまたどのように動き出すのか現在のところまったくわかりません。いずれにせよ不透明なまま新年を迎えました。

## 子どもたちは今

日本の子どもたちがおかれている現状は大変深刻です。昨年の暮れにはNHKが子どもの貧困問題の特集していました。6人に1人が貧困家庭にあり、年々増加の一途をたどっています。さらに深刻なのは就業労働人口6000万人の内、2000万人(3人に1人)が非正規雇用という不安定な労働に携わっており、貧富の格差が広がってきています。先の衆院選挙では安倍総理が「アベノミクスを辞めるわけにはいかないのです。雇用も株価も賃金も上昇傾向にあります」と述べていました。しかし、政府の発表する実態は逆の様相を示していると言わなければなりません。賃上げは一部の大企業、雇用の拡大の実態は正社員が減少し、それに変わって非正規労働者が増加、大学を出ても就職出来ず奨学金返済ができない若者たち、中途退学者が増加傾向にある高等学校の実態、登校拒否の児童数の増加など、すべての年齢層でいずれも先

の見通しが持てない状況が広がっています。

保育園では一人親家庭が増加しており、生活を成り立たせるために、2つ3つの仕事をしないと生活が維持できない問題が浮き上がってきています。小さな子どもを留守番させ、夜の仕事へ出かける実態も深刻です。子どもとゆっくり関わってあげたくてもできない現状と一人で暗い部屋で温もりのない夜を過ごさなければならぬ子どもがおかれている現実が深刻です。一人親家庭の50%を超える家庭が貧困家庭と言われており、先進国では最下位です。格差社会が今後の就学前教育や養護と保育にどんな問題を引き起こすのか、そして子育て新制度が生み出す問題について考えていく必要があります。

## 現段階での問題、公定価格(案)について

平成26年6月に公定価格の仮単価表が示されました(公定価格試算表については幼保連携推進室ホームページから入手できます。アドレスは<http://www.youth.go.jp/>)。その後、公定価格仮単価試算について精査する中で、保育所と認定こども園との間で格差が生じていることが判明しました。それは次の通りです。

①1号認定こどもの定員と2号・3号認定の子どもの定員がそれぞれ別々に単価設定されているため、1号認定こどもの単価が極端に高くなっている定員区分が有るなどの不合理が生じている。

②1号認定こどもが一人でも在籍すれば「学校」としての加配加算が付くという不合理が生じている。

③学校でない保育所型認定こども園および地方裁量型認定こども園に対しても学校としての加配加算が付くという不合理が生じている。

(保育を守る全国連合会「子ども・子育て支援新制度公定価格仮単価の問題点について」より)

この問題について昨年8月20日参議院議員会館大講堂で保育を守る全国連合会と九州保育三団体協議会は厚労省と懇談会を開きました。この時、私たちは保育所から認定こども園に移行した場合、公定価格の総額がどう変化するかについて試算したものを提示しました。たとえば、全体定員を変更することなく保育所から認定こども園へ移行し、1号認定4歳児を10人と設定した場合、年間給付は17,299千円(19.5%増)となります(左記表)。こうした差が出てくる背景について、厚労省はこの時の懇談会で、「保育を守る全国連合会が示した公定価格による試算は間違っていない」と認め、その根拠として次のように説明しました。

|                                                            |                                                                          |
|------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>移行前保育所</b></p> <p>2・3号認定:90名<br/>(収入:約8,900万円/年)</p> | <p><b>認定こども園に移行</b></p> <p>1号10名、<br/>2・3号定員80名<br/>(収入:約10,600万円/年)</p> |
|------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|

裏付けとなる根拠は、保育所になく、幼稚園・認定こども園にあるものとして副園長・教頭加算約90万円、学級編成加算340万円、チーム保育加配加算二人の場合670万円、事務職員315万円などです。これが根拠となつて格差を生み出すことについては、席上施設種別ごとに格差を設けないこと、子育て支援法付帯決議では給付による誘導は行わないという主旨からも大きな問題ではないかと指摘しました。これに対し「厚労省としても、幼稚園サイドと保育所サイドの対立を招くことにならないよう、慎重な検討が必要」と認め、「1号(教育)の利用定員を少数設定する場合の取扱いについては整理して」検討していきたい旨の答弁がありました。いずれにせよ、公定価格案が出されたことで、矛盾も明らかになつてきたと言えます。チーム保育加配加算については法令に根拠がある加配ではなく、「幼児教育振興アクションプログラム」(平成18年)による政策的促進加配です。当初「未就園児の円滑な幼稚園就園の推進」という位置づけで加配されましたが、その後「幼稚園当初の園児に対するきめ細やかな対応を図るため」「少人数教育などきめ細やかな学習指導などの推進」としてチーム保育が採用されてきた経緯があります。国の「子ども子育て会議」でも、幼稚園、保育園のすぐれたものを取り入れながらより良い基準をつくると述べていました。逆に格差を広げていくようなことになれば、日本の子どもたちが利用する施設によって子どもの処遇に直接格差をもたらすことに

なります。このようなことにならないよう、自民党関係議員に対して格差解消へ向けた要望を働きかけているところです。最近の報道では子育て支援については平成27年度から約5000億の予算を確保して実施するようです。今大事なことは保育所や幼稚園、認定こども園において同じ教育・保育内容に対する公定価格に差を付けないこと、認定こども園への誘導はしないこと、児童福祉法24条1項に基づく保育所の位置づけと役割を重視し、職員の処遇改善と保育環境の整備のための施策を進めるよう要望することが求められています。また、保育所と認定こども園との差別化と子どもの認定区分(1号2号3号)はいわゆる「学校教育」という位置づけが持ち込まれたことで、新たな問題が生じてきました。

### いわゆる「学校教育」という位置づけの背景にあるもの

幼稚園教育要領は平成21年4月から、保育所保育指針は平成20年に告示化されました。保育所指針はそれまで厚労大臣の告示としての扱いでしたが一定の法的拘束力を持つようになりました。昨年の4月に幼保連携認定こども園の「教育保育要領」が内閣府、文科省、厚労省の1府2省による告示として公示されました。これによって保育所における「保育所保育指針」、幼稚園における「幼稚園教育要領」の3つの要領、指針が揃ったこととなります。日本のどこにあっても、質を担保として保育が展開できる条件をつくったこととなります。しかし、こ

こにきて3つの要領、指針となつたことで、日本の子どもたちの就学前施設においてそれぞれの要領、指針によって保育、教育が行われることになりました。子ども・子育て支援法では「教育」の定義について次のように位置づけています。「この法律において「教育」とは、満3歳以上の小学校就学前子どもに対して義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして教育基本法第6条1項に規定する法律に定める学校において行われる教育」(支援法第7条2項)としています。他方、学校教育法では「学校とは、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校」と規定しています。同時に教育基本法第6条(学校教育)では「法律に定める学校は、公の性質を持つものであつて、国又は地方公共団体の外、法律に定める法人のみが、これを設置することができる」としています。今回の制度改革に伴う関連する法律の整備の際、学校教育法第6条に幼保連携認定こども園を組み入れることはしませんでした。支援法で「教育基本法第6条1項に規定する法律に定める学校において行われる教育」と規定したことで「学校教育」を行う根拠にしたようです。このような位置づけによつて、入所案内の説明文や保護者の間に「保育所は保育」「認定こども園は教育」とした説明があり、誤解を生んでいます。保育所における保育は保育所指針にも述べられているように、保育所は「養護及び教育を一体的に行うことを特性」としており、私たちはその営みを「保育」と位

置づけてきました。保育を学校教育としての教育概念と区別する意図はどこにあるのでしょうか?皆さんご存じのように、これまでの11時間の保育利用時間が標準時間と短時間利用になり、保育必要認定区分として1号(教育だけ)、2号(満3歳保育認定)、3号(3歳未満保育認定)と区別されることになりました。このような区別が今後子どもたちの処遇や保育にどのような影響を与えることになるのでしょうか。これから始まる保育条件整備は地域型保育や施設の3元化(保育所、幼稚園、認定こども園)に伴い、保育制度の空洞化(認可保育所としての役割の形骸化)につながることであれば保育制度における保育の託児化や非専門性化につながるかねないのではと危惧します。公立保育園の保育士の非正規化問題がクローズアップされていますが、保育の質の劣化につながるし、小規模保育のB、C型に配置する保育士が一定の研修を受けた保育指導員でもOKという制度も保育所の空洞化につながるのではないかと不安を持ちます。保育制度の大きな改革がはじまりますが、子どもたちの処遇に格差が持ち込まれることがないようにしたいものです。



## Q 指導に苦慮したことありますか？

実習生を受け入れた保育園の責任は重いと肝に銘じ、大切な時間を削って指導にあたります。学生だから仕方ないではなく、挨拶を始めとする社会人としてのマナーや言葉遣いなどは身につけた上で実習に臨み、自分に足りないものは何か、これから何を学んでいくのか、しっかり実を結んでくれればと時には心を鬼にして厳しい進言もしています。

実習生の側から見ると、何も教えてもらえなかった、何をするのか解らなかった、立っていると叱られた、掃除ばかりだった、実習日誌が大変だった、ただ、ただ疲れた・・・そんな声も聞こえています。それは現場の先生たちも経験してきたこと、そういったことを真摯に受け止め、取り組んできて今があるということを学生たちに伝えられるような指導方法を構築していけるといいですね。

### K保育園の実例

「実習Ⅰ」の学生です。3日目の朝、「無理なので、もう実習を辞めます」と電話が入った。「緊張したのかな、1日休んで体調を整えて、また、いらっしゃい」と答えたが、養成校の担当先生から連絡が入り、訪問を受けた。「指導案をどう書いたらよいかわからない」（指導担当の保育士から、「助言もあるので週末までに提出するように」と伝えていた。）「『本人はわからなくなっています』と言う先生にその理由を尋ねると『辞めると電話したときに優しく言われたけど、だったら最初から優しく言ってあげればよかったのに』と言っています。」

「保育士を諦めるのですか、退学ですか」「いいえ、少し時間をおいて別の保育園に実習に行きます」「私たちは、どの生徒にも同じように関わっていますよ」「わかっています」園長、職員、ともに言葉を失った。

### A保育園の実例

7年前、3人の実習生を受け入れた。同じ学校の1年生。3人のうち2人は成績優秀、優等生。そんな2人と一緒に実習に入ったもうひとりの実習生は・・・きっと普段は派手なんだろうなと察しがつく今時の子、勉強もできる方ではない。実習中、他の2人と自分を比べ、プレッシャーや劣等感で押しつぶされそうになっていた。自分が保育士になれるのか、なっていないのかという葛藤。そんな時に年長クラスに見学実習に入る。実習日誌の担任のコメントには毎日、実習生の良いところが書かれていたそう。それがとても嬉しく、励みになり、こんな自分でも保育士を目指していいのかなと思えたと言う。

2年生の夏、また、同じ3人が実習に来た。1年生の時より成長して。そして、しっかりと保育士を目指して。1年生の時、彼女を指導した年長の担任は私に言った。「園長先生、あの子お願い。良い子だけ自信なくしてる。気持ちはすごく優しい子。先生ならどうにかできると思うの。」そんな・・・良い子でも本人にやる気がなきゃ無理無理。そう答えた・・・

しかし、1年の時の葛藤や迷いを乗り越え良さを認めてくれる先生に出会い、2年の実習は彼女の優しさや気遣いを活かせる実習ができた。そして、そのまま採用。ピアノが苦手、成績もお世辞にも良いとは言えないものだったが彼女のこれからを信じてあげることができた。簡単に就職が決まっても現場に入ったら大変なこともたくさんある。その時に支えになるのは仲間だし、実習の時から、心配してくれていた先生や仲間の気持ちを大事にして欲しいと伝えた。

今あの時の彼女は5年目の保育士。辞めたい、そう思うことも乗り越えてきた。子どもが大好きな先生、保護者が信頼を寄せる保育士に成長している。中途採用3年目の職員が言った。「ここに来て1年目、大変そうだけどいつも1番に気づいてくれて、隣のクラスなのに声をかけてくれたり、手伝ってくれたんです。」と。一緒に働く職員の精神的な変化に気づき、助け合える保育士になった。

今でも実習生を預かると自分の学生時代の日誌を見返しているそう。自分が教わったことを実習生にも伝えていきたい、後で見返すことのできる日誌にして欲しいそんな思いで指導にあたっている。

こういう実習が受け継がれて、保育士不足の保育業界にたくさんの希望を持った保育士が育っていくことを願っている。

将来の保育界を担う実習生……現場の先生たちが卒業して○十年、時代が変わっても保育士の根っこは同じ、子どもが好きなこと、学生たちも「子どもと遊べる」ことを楽しみに、ポケットいっぱいに希望を詰め込んで実習に望んでいる、と思うのですが……

# 実習生について思うこと



## の報告

桜区では、公立5園、私立9園が3年前より交流をもつようになった。(年に3～5回程度の公私合同会議、研修会、勉強会) 地域の様々な情報や問題を共有し、又課題を出し合い共に学んでいる。この交流は桜区の子育て支援にとって欠かせないものとなっている。交流会開催にあたり、支援課に協力いただいていることにも大変感謝している。

## の報告

園長会での区会議はいつも参加園が少なく、なかなか成立しない現状です。年に1度ほどの区会議は、出席率もよく活発な意見が出ます。

浦和区の課長が、かなり協力的なので何か話し合いの場を設け、意見交換会をしていきたい。毎年の入所説明会は今年は公立保育園 小規模保育園も一緒に参加であったので具体的な内容は持ち出せない状態であった。

27年度入所に関する不明瞭な点について声が出た

- 新保育制度(短時間保育について、延長時間の設定について)
- 自園の保育士の育短についての扱い方 ●近隣の保育園との足並みについて

## 保育士保育所支援センター視察



平成26年9月18日(木)、福祉人材センター内にある保育士保育所支援センターに視察に行きました。ハローワークとは違い、保育士用のコーディネーターがいるので丁寧にマッチング出来るのが特徴です。就職希望者は新卒よりも保育経験者が多いとのこと。

この視察を通して、協会HPと保育士保育所支援センターのHPをリンクしました。

また、パンフレットがある園さんは、郵送すれば就職希望者が閲覧できるようになります。皆さん、ぜひ保育士保育所支援センターに事業所登録をし、活用していきましょう。



## 今月の おすすめメニュー

## 高野豆腐と豚肉の炒め煮

高野豆腐は、たんぱく質、カルシウム、鉄分が豊富で、子どもの成長に必要な栄養がたっぷり入っています。パサパサした食感や味ははっきりしないイメージがあり、家庭ではなかなか食卓に上がらない食品かもしれませんが、保育園では定期的に高野豆腐を取り入れています。

高野豆腐を豚肉と野菜で炒め煮にすることにより、旨味や味が高野豆腐に染み込んでしっとり美味しくなり、白飯に合う味付けになります。和食の献立として、子どもに人気のメニューです。



エネルギー.....103kcal  
たんぱく質.....6.1g  
脂質.....6.1g  
カルシウム.....42g  
鉄分.....0.6g  
ビタミンB1.....0.14g

## 材 料 ((3、4、5歳児)一人分)

|           |      |              |      |
|-----------|------|--------------|------|
| 高野豆腐..... | 5g   | 砂糖.....      | 1.5g |
| 豚肉.....   | 15g  | 酒.....       | 1g   |
| 玉ねぎ.....  | 20g  | しょうゆ.....    | 3g   |
| 人参.....   | 10g  | だし汁.....     | 適量   |
| 干し椎茸..... | 0.5g | グリーンピース..... | 3g   |
| 油.....    | 2g   |              |      |

## 作り方

- ①高野豆腐は水に浸し戻し、短冊切りにします。
- ②干し椎茸も水に浸し戻し、薄切りにします。玉ねぎは薄切り、人参はいちょう切りにします。
- ③グリーンピースは、色よく茹でておきます。
- ④鍋に油を熱し、豚肉、②の順に炒めます。
- ⑤①を加え、材料がかぶる位のだし汁を入れ、煮ます。
- ⑥調味料で味を整え、高野豆腐に味が染み、野菜が軟らかくなるまで煮ます。
- ⑦グリーンピースをまぶして出来上がり！！

## エンゼル保育園

## 高野豆腐戻し



年間の食育計画の中に、“高野豆腐戻し”を取り入れており、2歳児クラスで高野豆腐を水に浸して戻す体験をしました。

食育で戻した高野豆腐を使って、豚肉と高野豆腐の炒め煮を調理しました。子ども達は、水に浸しただけの食育でも調理に携わったという満足感で、得意な表情で嬉しそうに食事をしていました。

## 部会活動報告

### 平成26年度 予算対策部会

部長 金子 正年

部会報告の紙面をお借りいたしまして、協会会員の方へアンケート等に対する協力及び部員の方に対しまして感謝を申し上げます。平成26年度も次年度への予算要望としましてみなさまから頂きましたアンケートを参考に、一番要望がありました月内の突然の辞退者に対する月内補充が各区による対応の違い及び月内の途中入所のお願いと、来年から導入されます新制度に伴う施設の公定価格を是正していただくよう要望項目に入れました。

要望方法を今年度より陳情書という形式でさいたま市議会の12月議会に要望して参ります。

部会に会長の参加を頂き新制度の勉強会をして参りました、部会の活動がマンネリ化しての内容ですが非常に重要な活動ですのでこれからもみなさまの協力を頂きまして活動して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

### 平成26年度 研修部会

部長 中嶋 貴子

「保育は人なり」とよく耳にします。「子どもの最善の利益」を保護する保育とは、より深く広く豊かであることでしょうか。

研修を通して研鑽していきたいと思います。

#### 主任交流会

— 実践コミュニケーション心理学 浦登記先生をお迎えして —

短所を長所へ変え、相手の良いところを伝えていく。保護者や子どもたちのコミュニケーションのとり方、考え方を教えていただきました。みんなでコミュニケーションをとり笑顔にしていける保育園の話をしていただきました。

#### 保育士研修

— 保育士のための自然体験講座 —

保育士の自然体験生活体験をしながら感性を磨き、自然環境の大切さを学びます。花で染色をしたり、落ち葉のプールに入ったり、ミミズ、クモに触ったりと楽しく感激のある研修です。

#### 保育園見学

豊かな自然の中にあるかわいデイナーズリーさんの見学をさせていただきました。みんなの協力のもとでできている保育園であり、保護者や園児に対する暖かい思いをお伺いしました。また意見交換を行い、有意義な時間を過ごしました。

#### 看護師交流会

各保育園の近状報告、感染症の状況、保健指導の報告がありました。次に各保育園での保健に対する疑問を出し合い、情報交換を行いました。各国に持ち帰り、よい所を参考にしております。

### 平成26年度 広報部会

部長 和田 喜美

年2回の発行は、各国で役割を担い、皆さんの協力により進め参りました。

編集会議は、情報交換もあり、写真選考や紙面がスバツと決まることもあれば、特集ページの決定に二転三転して意見が飛ぶ、広報部にはこんな忙しさがありませんかおもしろい。

### 平成26年度 調査・研究部会

部長 増永 久美子

調査・研究部は、さいたま市幼児教育研究調査委員会に副部長が出席し、幼稚園・学校と連携して幼児教育における諸課題についてのアンケート作成に携わってきました。

もう1つは、8月に危機管理についてのアンケートをとりました。アンケートをとってみると、事故・災害・アレルギー対応・苦情対応・感染症対策等実に様々な声があがりました。その声をもとに、さいたま市保育課から「危機管理について」の説明を聞くことができたことは、良かったと思います。加盟園も多く、地域によっては状況も様々であることもよくわかりました。現在は、各園に寄せられる苦情・その対応についてアンケートを作成しています。またご協力よろしくお願いします。

### 平成26年度 食育部会

部長 和田 明子

9月26日に勉強・意見交換会を行いました。今回は『副材料の違いによる影響』として、私達の生活に最も身近で欠かせない『小麦粉』について学びました。例として、クッキーは小麦粉の他にバター、砂糖、卵などが主な副材料ですが、それぞれ配合の割合を変え、その焼き上がりの違いを比べてみました。基本の材料で焼き上げたクッキーは、しっとりとして甘さも丁度良いものでしたが、例えばバター多めだと、サクサクした食感でとても崩れやすく、全く入れないで焼くと、固くて風味もないものでした。他に天ぷらをカリっとした食感で揚げるコツは、小麦粉と氷水をダマが残っても良いのでサクッと混ぜること、そして油に入れたらしばらくは触らないこと…それだけを守れば、卵を使わなくてもびっくりするほど美味しく揚げるので、卵アレルギーでも安心して提供できます。

今回は改めて基本の調理学を学べ、またその後の意見交換会でも、食育の進め方、食器などについて話し合い、他園の様子も伺うことができ、充実した勉強会となりました。

恒例の調理実習は、2月に予定しております。たくさんのご参加お待ちしております。



協会の情報を発信する広報誌「みらい」にたくさんのご意見をお待ちしています。

#### 「活動」

- ・広報誌「みらい」11号8,00部、12号8,00部を発行
- ・取材 ・アンケートの実施 ・部会議、編集会議

#### 「誌面の内容」

- ・保育会情報 ・特集記事 ・部会報告
- ・おすすめ献立 ・わくわくがいっぱい ・園紹介

# わくわくが いっぱい!

くすの木保育園

大根掘り



彩の森保育園

彩の森オールスターズ



演奏曲 「ダイヤモンド」「キセキ」「夢をかなえてドラえもん」

大宮つぼみ保育園

お正月遊び



大宮むさしの保育園

おみせやさんごっこ



「いらっしやい!どれにしますか?」子どもたちの元気な声が響き渡りました。みんなで楽しい時を過ごすことができました。

常盤こころ保育園

ふく紗さばき



お茶をたてたり、お茶やお菓子をいただくのはみんな大好き!でも、正座や礼儀作法はちょっときびしいな!

## 編集後記

富岡製糸場が世界遺産に認定されると知り、職員旅行に決めて、すぐに申し込みをした。当時としては先進的な七曜制の導入と日曜休み、年末年始と夏の10日ずつの休暇、1日8時間程度の労働で、食費・寮費・医療費などは製糸持ち、制服も貸与され、工女の余暇を利用した教育機関までが設けられた。しかし「工女になると西洋人に生き血を飲まれる」などの根拠のない噂話が広まり、なかなか集まらず…。とある。「ああ、野麦峠」の映画で、3年の満期を終えた主人公が、人力車に乗り村の人々に日の丸の旗を振って出迎えられるシーンを思い出す。職員旅行について、休日を職場の職員と過ごすことは、気が休まらず、気を遣うのではないかとの思いも少なからずあるが、30数年前の勤務していた自分に、先輩が気を遣ってくれたことや、築地や銀座の有名処ばかりの食事会に、「園長先生に感謝しましょう」と言った主任の言葉が思い出される。私を育ててくださった園長先生と同じことはできそうもないが、職員には見聞を広げてほしいと願って、毎年「職員研修旅行」を計画しています。

広報部 和田喜美



未来ほしの子保育園

餅つき大会



いつも主食で食べているお米と同じ、世界農業遺産に認定された佐渡島の棚田で作られたもち米で、2歳児から5歳児が餅つきを行いました。

おうぎの森保育園

雪あそび



## 保・育・園・紹・介



もとの木保育園 園長 中嶋 一雄

もとの木保育園は、大宮駅より徒歩約20分、東武野田線大宮公園駅より徒歩15分の場所にあり、大宮つばみ保育園の姉妹園として、平成16年4月に60人定員の認可保育園として開園しました。地域の環境は周囲に大宮氷川神社、大宮公園、第2公園、第3公園、県営球場、サッカー場があり、緑に囲まれた静かな住宅街の中にあります。

保育園の基本理念は、「自尊感情・自己肯定感」を育てる保育を目標としています。また、保育方針は「子どもたちが安心して生活する中、ありのままの自分の姿を出し、受け止めてもらえる安心感、温かい雰囲気のある保育園、そこから始まる保育を大切にします。一人ひとりを大切に受け止め、友だちと育ち合うこと、いろいろな経験を通して、子どもも大人も成長し合えること、そんな保育を目指しています」としています。

乳児期は大人との愛着、個人の心身の発達の保障、生活習慣の自立援助を目標とし、0歳児は、まなざしと触れ合い、1歳児は、自我の芽生え、2歳児は、尊重してほしい自分の気持ちとしています。幼児期は、個人の全面的発達、他者との関係の発達、家族と地域社会の係わり、円滑な就学を目標とし、3・4・5歳児の合同の異年齢保育を行い、わらべうたなどの課業の学習を通して、自立から自律へとつなげていきます。保育園は、子どもを中心として、保護者・職員と共に、子どもの幸せを願い、生き生きと元気な場所でありたいと願っています。



見沼あかね保育園 園長 立田千陽子

見沼あかね保育園は平成16年4月に開園しました。場所は大宮市民の森の近くで公園があり、きずな広場と緑に囲まれたところにあります。

交通機関は東武野田線大和田駅下車2〜3分のところです。子供たちは日当たりの良い園、年齢にあった環境の中で、自由に元気いっぱい遊び生活しております。

保育内容につきましては、年齢にあったお仕事がたくさんあり、その中で自分で選んで繰り返しお仕事をし、自信をつけ、次のステップにチャレンジしております。

具体的にはお仕事とは、日常の場合、人気があるのは、お茶のサービス、ケーキを作る、胡瓜を切る、バナナを切る、胡麻をする、ふりかけを作る食べることは目を輝かせてやっております。他にはお掃除も好きです。窓を拭く、机を拭く、ゴミを集める等です。感覚では色付き円柱を重ねたり、構成三角形を二枚合わせると四角形になり不思議がったり色々な形を作って満足しております。目で見て耳で聞き匂いをかいでカレーの匂い、パニアアイスの匂いと楽しんでおります。

手では目と手を使い数を数えたり、ビーズで出来る線り上げを楽しんでいます。移動五十音を使って文章を作ったり、お手紙を書いたり、物と名前を合わせたり持って来られる物と持って来られないものがある事に気が付いたりしていました。宇宙に興味があるお子様が星を貼って星座を作っていました。三歳児は今度いつか自分がやってみよう欲でじっと見ていました。

子供たちの意欲がたくさん起きるよう毎日を大切に過ごしております。集団の中で運動会、リズム体操、運動遊び、クリスマス会、子供の世界で育っております。私達職員は皆で子供たちが敏感期を大切に、本当の自立に向かって成長出来るよう親子、地域の人々と共に応援しております。



武蔵浦和Jキッズステーション 園長 清水三代子

武蔵浦和Jキッズステーションは、平成16年に開園しました。法人の理念である「その子らしさを大切に」を柱に69名の子ども達を職員全員で育てていくことを基本としております。

11年目となる今年は、園庭のみかんの木に大粒のみかんがたわわに実り、みんなでみかん狩りを楽しみました。

当園は駅から徒歩8分の立地ですが、武蔵浦和駅周辺は開発が進み、タワーマンションも次々と建築され待機児童も多い場所です。

その環境の中で、少しでも子ども達には自然を感じて欲しい！との思いで四季折々の花が咲くように花いっぱい♡を心がけ保護者や職員の癒しにもなっております。また食育の一環としてプランターや猫の額ほどの畑ですが、野菜を子ども達と育てています。

その他、年長児の米とぎやお寿司屋さんによる魚の解体ショー、お弁当バイキング・調理保育等、担任と給食室と話し合いを密にして進められます。そして、食育に欠かせないのは「食べなくなる体づくり」散歩に頻繁に出かけたり、リズムを行うとともに早朝保育や延長保育も園庭遊びを行い元気に遊んでいます。

また、併設の一時保育と子育て支援センターにも多くの方が訪れます。これから地域に愛される施設として「職員が楽しくなければ子ども達も楽しくない」をモットーに泣いたり笑ったり楽しく過ごしていきたいと思っております。



かいデイナーズリー保育園 園長 金子みどり

デイナーズリー保育園は0歳児より預かりしている園です。ひとりひとりのお子さんが「じょうぶな身体とこころを育てる 個性をのびし未来に生きる」を理念にして保育を行っています。

現在子供達が育っていきこうとする環境は、私たちが育って行った環境とは大きく違い複雑化されています。

そのような現状の中で私達大人も「どのように我が子を育てていったら良いか？」を問われる時期にきていると思います。また私達はお子さんが誕生すると同時に親になり親として日々社会に貢献していく事になります。その過程の中で保護者の方々は日々お子さんと共に歩む幸せをたくさん感じながら時には戸惑い時には育児のやり方がわからなくなったりする事もでてきているのではないのでしょうか？そして保護者の方々はご自身のお子さんの成長を我が事以上に思い、ご自身の全身全霊を尽くし子育てをしているのではないのでしょうか？

私もそうでしたがどんな時にも我が子の事を考えている自分がいました。しかし日々の生活の中では仕事・家事に追われ我が子の面倒も怠ることもあり一日が過ぎるのが早く感じられるものでした。

デイナーズリー保育園は、現在子育てをはじめられた保護者の方々に安心してお仕事ができる事や子育てを充分楽しんでいただけるように協力して参ります。また「子ども達主役の園」として毎日楽しく登園し保護者の方々が充実した日々を過ごされる事を応援します。